



こうか
まちかど特派員

かねだ たかこ
金田 貴子



心和む音楽、心躍る音楽、 参加型の音楽はいかがですか

音楽に合わせて体を動かすことはとても楽しく気持ちがいいものです。ダンスには競技として技を競い合うものから、レクレーションとして楽しむものまでいろいろあります。そんな中、障がいを持った方と健常者が手を取り合って踊る、楽しい時間を過ごす、という真心のこもったダンスがあります。

今回は市内で活動が続けている車椅子レクダンス普及会の皆さんの活動をご紹介します。

これまでポスターやチラシ等で「車椅子レクダンス」の文字は見たことがあったのですが、今回初めて実際にダンスをされているところを見せていただきました。

私が会場に行くと、すでに何人かのメンバーの方がテキパキと準備をされていました。まず、空気入力で適度にタイヤの調子を整えてからレッスンを臨まれます。

聴いたことがある方も多いかと思いますが「オクラホマミキサー」を始め、「崖の上のポニョ」「四季のうた」など様々な曲が流れると次々ダンスが繰り広げられます。車椅子を使用される方と健常者の方とがペアの想定なので大きく移動することは少ないのですが、リズムに合わせて車椅子を操るのはコツが必要なの



▲熱心にレッスンされる藤丸さん(右)と会員の皆さん

うです。しばらく見学させていただいていると「一度体験をどうぞ」と声をかけていただき、ドキドキしながら挑戦しました。

まず、年齢を重ねてくると人と手をつなぐということが少なくなり、改めて人の手の暖かさになり、改めて人の手の暖かさを感じました。また、向かい合って目と目を合わせニコニコり微笑まれると自然とこちらも笑顔になります。曲に乗り車椅子が動く、それは楽しい時間となりました。

車椅子の使用にあたっても注意点が有り、初めての方にも細かく行き届いた指導を基本に、それからダンスを始めることになるそうです。

代表の藤丸さんにお話を伺いました。正式名称は「車椅子レクダンス普及会」といい、全国的、世界的な組織に発展しており、社交ダンスもあるそうです。ポランティアで多く活躍されている方々ですので、皆さんもどこかでご覧になったり、あるいは参加される機会もあるかと思えます。メンバーの方の軽やかなステップと素敵な笑顔とともに、心と心がつ

心と心がつながる楽しいダンス▶▶



ながるダンスにどうぞ酔いしれてください。

